

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 296 『広宵大暮』 こうしょう たいぼ

< 意味 > 亡くなった人が深い土の中に入って、二度と戻ってこないこと。死者を悼む言葉。

< 出典 > 『文選』陸機「挽歌詩」。「広宵何ぞ<sup>もんぜん りくき ぼんかのし</sup> 寥廓<sup>りょうかく</sup>たる。大暮安<sup>いず</sup>くんぞ<sup>しん</sup> 晨すべし」

語 釈 : 「宵」「暮」は、ともに夜の意。転じて、墓穴を指す。また「大暮」は死者も意味する。

一 言 : 少し前に私が大学時代の親友を亡くしたことを書きましたが、すべての人が故人の思い出と共に生きていると言っても過言ではないでしょう。死者を悼むこんな言葉があるなんて漢籍というか漢字の世界は奥深いですね。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」